

平成26年度 第2回社会教育委員の会議 会議概要

- 1 審議会名.....第2回社会教育委員の会議
- 2 日.....時.....平成26年11月14日(金).....午前10時00分から午前11時00分まで
- 3 会.....場.....明科公民館.....講堂
- 4 出席者.....細田利章委員、平田米子委員、小穴廣光委員、荻原義重委員、三澤知子委員、松尾明保委員、山崎敦子委員、伊藤正住委員、林.....公也委員、倉科明生委員、山崎美子委員
- 5 市側出席者.....橋渡教育長、北條教育部長、生涯学習課蓮井課長、文化課那須野課長、図書館交流課赤羽課長、社会教育担当藤森係長、社会教育担当小笠原係長、スポーツ推進担当久保田課長補佐、豊科地域担当横川係長、穂高地域担当曾根原課長補佐、三郷地域担当竹内係長、堀金地域担当大林係長、明科地域担当等々力係長、文化振興係山田係長、博物館係熊井係長、図書館交流担当財津係長、図書館交流担当沖主査、社会教育担当臼井主査、社会教育担当丸山主事
- 6 公開・非公開の別.....公開
- 7 傍聴人.....0人.....記者.....0人
- 8 会議概要作成年月日.....平成26年11月14日

協 議 事 項 等

【会議概要】

- 1 開 会
- 2 あいさつ  
三澤副議長  
橋渡教育長
- 3 協議事項
  - (1) 議長の選出  
議長 細田利章委員
  - (2) 平成27年度 事業計画について
    - ・生涯学習課
    - ・支所地域課
    - ・文化課
    - ・図書館交流課
  - (3) 安曇野市生涯学習推進計画の見直しについて
  - (4) 安曇野市公民館条例の改正の概要について
- 4 そ の 他
- 5 閉 会

【協議事項】

- (1) 議長の選出  
《委員の互選により細田利章委員を議長として選出》
- (2) 平成27年度 事業計画について  
《生涯学習課各係長より説明》  
《支所地域課各係長より説明》  
《文化課各係長より説明》  
《図書館交流課各係長より説明》

(委員)

青少年健全育成費の事業内容の中にあるフェスティバルの単語は、スペルミスじゃないかと思ます。図書館の事業で、予算が0円の事業がありますが、色々物品などを購入しなくてよるしいのか。生涯学習を含め、文化財、文化の振興ということについては、小中学生たちにそういう活動が必要じゃないでしょうか。安曇野市にはたくさん、美術館がありますが、子どもたちは学校生活が忙しくて見学に行くことができない。市のバスを申し込みたいと思っても、時間とマッチングができなくて断られてしまう。さきほど出前講座があるという話でしたが、生徒たちがその施設へ行って、見学するのがベターではないかと考えています。その点で、時間的なものを考えて、バスを上手に回転させることができないか検討していただきたい。

(事務局)

青少年健全育成費の内容にあるフェスティバルの単語はスペルミスです。訂正したいと思ます。子どもの文化祭ということで、子どもたちが喜ぶようなネーミングの方が良いかと思っています。これはまだ仮称ですので、子どもたちの意見を聴きながら楽しめるような内容にしていきたいと考えています。

(事務局)

図書館関係で、予算額が0円の事業については、消耗品として若干予算はかかっていますが、事業自体の実施については0円ということで掲載しております。

(事務局)

学校の子どもたちが、市のバスの利用ができないかということですが、博物館、美術館サイドとしましては、市内の小中学生に気軽に見に来ていただけるように、博物館につきましては無料となっております。また、出前講座ということで博物館と美術館の連携事業や、昔の暮らし体験講座は、普段なかなか利用できない農具などを実際に触ってみたり、着物を着てみたりと非常に好評で、その裏返しとしていかに学校が出られないかという現状があります。バスの活用は、学校のスケジュールとも兼ねあいがあり、校長会等でも言っていただきたいという要望はしておりますが、なかなか学校も忙しいということもあり、御指摘のところについてはそういう一面もあるということは認識しております。博物館、美術館施設の子どもたちへの利活用ということにつきましては、学校とも調整していきたいと思っております。

(3) 安曇野市生涯学習推進計画の見直しについて

《社会教育担当藤森係長より説明》

(4) 安曇野市公民館条例の改正の概要について

《社会教育担当藤森係長より説明》

#### 4 その他

(委員)

違ったことでひとつお願いします。

社会教育委員のあり方ということで、社会教育委員の会議で前回配っていただいた資料に、社会教育委員の職務というものがあります。それを見て、私たちは研究調査をしたのか、研究調査もしないのに答えられるのか。おこがましくて意見が言えない、勝手なこととは言えないと思いました。

今年初めて社会教育委員になって、9月の松本の総合センターで岡谷市の発表を聞いたときに、社会教育委員というのはこういうことをするのかと思いました。今まで関わってきたことで、安曇野市のジュニアリーダーをどうやって養成していくか。フェスティバルやイベントでも、育てるような企画を計画的にやっていくことと同時に、99分館の、各地域の色んな行事で、ジュニアリーダーを育てるということに焦点をあてながら、子どもたちが中心になって続けていけるような行事体制を作りながらやっているか指導していただきたい。ぜひジュニアリーダー養成も、青少年育成もとても大事なことで、期待しています。そして99分館に下りてきたら、さらに地域を盛り上げると思っています。

(事務局)

本来でしたら10月頃に研修会を開催する予定で動いていたわけですが、諸事情があり、これからを計画しております。

(事務局)

今までジュニアリーダーの養成で、ほとんどキャンプが中心でした。それだけでは育ってはいかないのではないかということで、どろんこドッジボール大会を開催し、好評でありましたので、来年もできればなと思っています。

子どもたちの文化祭は、やはり子どもたちが計画していけたらジュニアリーダーの養成につながるのではないかと、地域に還元できるのではと考えていますので、御協力をお願いいたします。

【終了】